



生誕170年・没後100年記念

鈴木 松年

すずきしゅうねん

今蕭白と
呼ばれた男

2018年

7月10日(火)～9月30日(日)

前期 7月10日(火)～8月19日(日) 後期 8月21日(火)～9月30日(日)

休館日：月曜日(ただし月曜日が祝日の場合は翌日休館)

主催：公益財団法人香雪美術館、朝日新聞社

開館：午前10時～午後5時(入館午後4時30分まで)

観覧料：一般 800(600)円、大高生 500(400)円、中学生以下無料

※()内は20名以上の団体料金

※7月12日(木)は「兵庫県政150周年記念美術館博物館無料開放事業」により入館料が無料になります

 香雪美術館

KOSETSU MUSEUM OF ART



生誕170年・没後100年記念

鈴木松年

すずきしょうねん

今蕭白と 呼ばれた男

鈴木松年(1848~1918)は、赤穂の儒学者の図書を祖父に、同じく儒学者で日本画家の百年を父に京都で生まれました。幼時より父から絵の手ほどきを受けた松年でしたが、本格的に画家となる決意をするのは20歳を過ぎてからでした。初号は百僊といひます。22歳の時、1日で1000枚絵を描く席画会を成功させたことが契機となって高く評価され、32歳頃に画号を「松年」と改めます。これは禅語「松樹千年翠」に由来するとされ、父の百年を超えようとする自負心が伺えます。雪舟、狩野元信を尊び、鬼才の画家曾我蕭白に私淑しました。気性が激しく逸話の多い人物で、同時代の画家たちとしばしば争った話がいくつも伝わっています。

明治14年(1881)に日本初の公立の絵画専門学校である京都府画学校(現京都市立芸術大学)の副教員(教授職)となり、明治15年第1回内国絵画共進会で受賞して以降、さまざまな展覧会、博覧会で賞を得、京都画壇の重鎮として活躍します。上村松園、土田麦僊をはじめ、数多くの画家が彼の下で画を学びました。松年はその豪快な画風と豪放な性格から「曾我蕭白の再来」と評され、今蕭白と呼ばれました。

このように、明治期に京都画壇の中心として活躍した鈴木派ですが、現在では忘れられた存在になっていると言わざるを得ません。2018年は松年が誕生して170年、没後100年となります。この機会に鈴木松年の画業と作風に触れていただきたいと思います。



「宇治川橋合戦図屏風」明治44年(1911) 浄妙山保存会蔵〔後期〕



「群仙図屏風」(右隻) 明治36年(1903) 京都国立博物館蔵〔後期〕



「溪流桜花図」大正2年(1913) 京都市美術館蔵



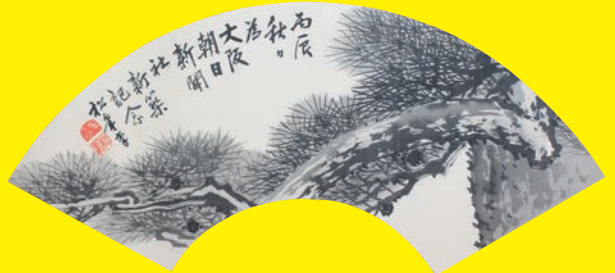
「仁王像」明治19年(1886) 平等寺(因幡堂)蔵

梅園会(講演会と茶会)

開催日=2018年7月22日(日)
開催時間=講演:午後1時 茶会:午後3時から
「一日千枚 健筆の人 鈴木松年」
松尾芳樹氏(京都市立芸術大学芸術資料館 学芸員)
定員=50名(応募多数の場合は抽選)
参加費=3,000円 ※「鈴木松年」展の入場料を含みます。
参加申込方法=往復はがきに住所・氏名(返信用にも)、電話番号を明記のうえ、下記宛先までお送りください。
はがき1枚につき1名のみ申込みできます。申込み受付後、参加費事前入金の案内を書面にて連絡いたします。
〒658-0048 神戸市東灘区御影郡家2丁目12-1
香雪美術館「梅園会」係
締め切り=2018年6月29日(金)必着

ギャラリートーク

会期中の毎週土曜日、午後2時から学芸員によるギャラリートークを行います。
※講演会、ギャラリートークの聴講は無料ですが、別途展覧会の鑑賞券が必要です。



「松園」大正5年(1916) 朝日新聞社蔵

表画
右上:「群仙図屏風」(右隻、部分) 明治36年(1903) 京都国立博物館蔵〔後期〕
左上:「宇治川橋合戦図屏風」(右隻、部分) 明治44年(1911) 浄妙山保存会蔵〔後期〕
下:「八岐の大蛇退治図」(部分) 明治4年(1871) 京都府蔵(京都文化博物館管理)〔前期〕

交通案内
・阪急神戸線「御影」駅南改札口より東南へ徒歩5分
・JR東海道線「住吉」駅より西北へ徒歩15分
・阪神本線「御影」駅より市バス19系統「阪急御影」より東南へ徒歩5分

香雪美術館

KOSETSU MUSEUM OF ART

〒658-0048 神戸市東灘区御影郡家2丁目12-1
TEL:078-841-0652 FAX:078-841-1402
<http://www.kosetsu-museum.or.jp/mikage/>



次回展
企画展 伊勢・川喜田家の茶の湯—川喜田半泥子を育てた名品「石水博物館の茶道具」(仮)
2018年10月13日(土)~12月23日(日)

中之島香雪美術館
「珠玉の村山コレクション〜愛し、守り、伝えた〜」
III 茶の道にみちびかれ 2018年7月7日(土)~9月2日(日)